

コード	101020104
記入日	H24.5.31

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	島元 敬三

# 事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	長崎食の観光推進プロジェクト事業
----------	------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	101	施策名称	魅せる観光のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	10102	基本事業名称	新たな観光資源の開発とネットワーク化の推進	目コード	3
事務事業コード	1010201	事務事業名称	観光振興事業費	細目コード	
関連計画	法令・条例規則等				

## 計画 ( PLAN )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 利用者数		(対象指標1)	1,000人			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・10月～12月の間、五島エリア地域フェスタとして「五島うどんと海鮮丼フェア」を実施した。期間中、団体ツアー客を対象に粗品を配布し、個人客には、抽選でプレゼントが当たるキャンペーンを実施して利用者の増加を図った。広報活動として、町広報誌に掲載したり、チラシを配布した。また、長崎オクトーバーフェストでPR活動を実施した。	***** ① イベント開催	1.0式	100%	イベント実施÷ イベント計画	***** 平成23年度
		(達成率分析)	五島うどん海鮮フェアの実施やチラシ配付などのPR活動を実施した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・長崎県が企画する「長崎食の観光推進プロジェクト」に五島エリアのひとつとして参加し、食にターゲットを絞ったPRで、観光客誘客を図る。また、個人客に対しても情報発信を行い、本町ならではの食材をいつでも誰でも食べられるシステムの構築を目指す。	***** ① 利用者数	1,904人	190.4%	利用者数÷ 目標利用者数	***** 平成23年度
		(達成率分析)	宿泊客を予想していたが、日帰り客の利用が予想以上にあり、目的を達成できた。			
		②				
		(達成率分析)				

## 実施 ( DO )

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 23 ~ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0
	②					
成果指標	① 人	1,000	1,904		1,000	1,904
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	3,845	3,845		3,845	3,845
直接事業費 A	千円	1,045	1,045		1,045	1,045
人件費 B	千円	2,800	2,800		2,800	2,800
内訳	従事職員数	人	0.4		0.4	0.4
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源	千円	3,845	3,845		3,845	3,845

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	新上五島町ではアクティブシニア層の団体ツアーはもちろん、電気自動車等レンタカーを利用した個人客に対応できるきめ細やかなサービスの提供が必要であるため。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	いつでも誰でも、本町ならではの食材を飲食店等で提供するという目的は、「五島うどん」については達成できた。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	県の事業に賛同して取り組んだことにより、最小限の予算で実施することができた。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	<p>町として観光客をターゲットとした食関連事業に取り組む際、五島列島の新鮮な魚介類や地域団体商標を取得している五島うどんに食材を絞り込むことは今回の事業で島外の方々に受入れられたことから間違っていない。しかし、町としての思いと協力していただける飲食店等との思いの違いをできるだけ小さくして今後取り組む必要がある。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	<p>町としての思いと協力をしていただける飲食店等との思いを同じくするためには実績をあげるしかない。実績をあげるためには、ある程度事業を継続する必要がある。「五島うどんと海鮮丼」については平成24年度も別事業で継続する。ここでは、通年用のチラシを作成し、フェア期間中だけでなく、年間をとおして飲食店にメニュー提供していただけるような取組を行う。</p>	
2 次 評 価	<p>新上五島町ならではの食材をいつでも誰でも食べられるシステムの構築を図り、今後も観光客誘客及び情報発信に努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。